

県内に生産拠点を もつ企業より19件が 採択される

この補助金は、平成21年度補正予算の成立を受けて創設され、①試作品開発から販路開拓等を支援する「試作開発等支援事業」（以下開発事業）と②製品の公設試を活用しての実証等を支援する「製品実証等支援事業」（以下実証事業）の2つの事業で構成されている。

6月12日から6月24日までの期間、第1回となる公募申請を受け付けたところ、全国で「試作事業」に7387件、「実証事業」に479件の申請があり、審査委員会にて審査を行ったところ、「試作事業」1655件、「実証事業」470件がそれぞれ採択された。

山梨県に開発拠点を置く企業は、試作事業に52件の申請があり、そのうち1／3以上の19件が採択され、1／4以下となっている全国平均を大きく上回る採択数となった。

また、実証事業については4件の申請の全てが採択された。

採択企業一覧

企業名	テーマ
株式会社ニッセー	塗工ロールの微細溝転造
株式会社オキサイド	一方向凝固鑄造によるBSO系シンチレータ材料の試作開発
株式会社東京エンジニアリング	ソーラーシリコン角柱複合外周加工機の開発・販売
浅川熱処理株式会社	超高周波加熱によるアルミニウム合金ボルト製品の開発事業
株式会社山梨技術工房	高精度位置決めによる透明基板表面検査装置の開発
有限会社オオタライフ	潮解性光学単結晶の高精度研磨技術の開発
株式会社オーテックメカニカル	LED生産用高速分類機及びテーピング機の開発
有限会社丸真熱処理工業	急速局所熱処理による高機能チタニウム合金部品の開発
株式会社塩山製作所	高硬度・高脆性等の難研削ウェハ(GaAs,LT)における、超薄型化加工を可能とする研削・研磨プロセスの試作開発
コミヤマエレクトロン株式会社	ソーラーパネル用高効率真空製造装置の開発
大月精工株式会社	超高速精密歯切り加工(10,000rpm)の研究開発
株式会社 オーテックエレクトロニクス	照明用LED検査機における高機能化品の試作開発
株式会社 オークラマイクロコーティング	小型化電子部品における高密度実装接続を容易にする、めっき被膜の試作開発
アドバンスドメディカル株式会社	市販のベッド脚下に取付けたセンサにより呼吸波形測定及び呼吸数測定装置試作
株式会社エスワイ精機	真空ターボ分子ポンプ部品(静翼)のアルミダイキャスト成形品の試作開発
藤精機株式会社	板金材とCFRPを一体化した軽量・高強度構造材料の開発
山陽精工株式会社	ダイカスト部品の自動寸法測定装置の開発
株式会社電溶工業	自動車産業向け抵抗溶接機の小型軽量化と高速化
ミズホ精密株式会社 株式会社びにっと	ペン入力・狭額縁仕様、高信頼性タッチパネルの技術開発。

※共同申請

なお、2次募集については8月14日に締め切れ、1次募集不採択企業の再チャレンジについても9月3日に締切となっており、事業実施期間を一定程度確保する観点から、第2回公募にて終了する予定となっている。また、広くものづくり中小企業者を支援するという本補助金設立目的の観点から1事業者1案件の採択となった。

「ものづくり中小企業製品開発等支援事業補助金」 第1次募集の採択結果について



定価100円
昭和36年4月10日
第三種郵便物認可

9月号

2009年
第632/209号
(毎月1日発行)

8月の出来事

- 時 事
3日 裁判員裁判全国第1号、6日判決
10日 台風9号豪雨被害、兵庫
11日 静岡県で地震、震度6弱
08年度食料自給率、11年ぶりに41%
30日 衆議院議員総選挙
- 山梨県中央会ニュース
3日 ジュニアトライワーク②
7日 ものづくりの魅力発見ツアー①
14日 ものづくり補助金第2次公募締切

9月の予定

- 7日 下請けトップセミナー
- 地域力連携拠点事業経営セミナー
1日鰍沢、2日山梨市、3日甲府、15日都留、
16日韮崎、17日甲斐市
- 全国中央会専門委員会
28日税制、29日金融、30日商業

今月の見どころ

- 1面 ものづくり中小企業支援補助金
第1次採択企業決定
 - 2面 地域商店街活性化法に係る
支援策の概要について
 - 5面 事務連絡協議会 通常総会を開催
 - 8面 東京で山梨の特産品をPR！
- その他、各種事業案内、施策等々情報を掲載

発行所 山梨県中小企業団体中央会
甲府市飯田2-2-1 中小企業会館4階
TEL 055(237)3215代 FAX 055(237)3216
http://www.chuokai-yamanashi.or.jp
e-mail webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp

「商店街の活性化のための地域住民の需要に応じた事業活動の促進に関する法律（地域商店街活性化法）」成立

～ 支援策の概要は次のとおりです～

1. 法案の目的

商店街ならではの「地域コミュニティの担い手」という機能を発揮することにより、商店街の活性化を図ることを目的に、商店街振興組合等による、地域住民に役立ち、地域の魅力を発信する取り組みに対し、補助金、税制、人材育成など総合的な支援を行います。

2. 法案の概要

(1) 基本方針の策定

経済産業大臣が、商店街活性化事業の促進の意義や基本的な方向等を示した方針を策定します。

- 商店街活性化事業…商店街への来訪者を増加させ中小小売商業・サービス業者の顧客増加や事業拡大を図るために、商店街振興組合や事業協同組合等が行う地域住民のニーズに応じた事業活動

(2) 商店街活性化事業計画の認定及び支援

経済産業大臣が、県及び市町村に意見を聴き、配慮した上で、商店街振興組合等が策定した商店街活性化事業計画を認定。認定事業に対し、以下の支援を行います。

- ① 認定事業に対する補助金（中小商業活性化向上事業費補助金：42億円）の補助率を1/2から2/3に引き上げます。
- ② 認定事業を行う商店街等に土地を譲渡した者に対して、1,500万円を上限に譲渡所得の特別控除を行います。
- ③ 小規模企業者等設備導入資金助成法の特例により、認定事業を行う小規模企業者（商業・サービス業：従業員数5人以下）に対し、設備資金貸付（無利子）の貸付割合の引上げ（1/2以内→2/3以内）を行います。
- ④ 中小企業信用保険法の特例により、保険限度額の拡大（2倍）、填補率の引き上げ（70%→80%）、保険料率の引き下げ（3%以内→2%以内）を行います。

(3) 商店街活性化支援事業計画の認定及び支援

一般社団法人、一般財団法人又は特定非営利活動（NPO）法人で、議決権、財産評価額等の1/2以上を中小企業者が有しているものが作成した商店街活性化支援事業に関する計画を、経済産業大臣が認定。この認定を受けた一般社団法人等を中小企業者とみなして中小企業信用保険法を適用します。

(4) 市町村による無利子融資（（独）中小企業基盤整備機構の高度化融資）

市町村（特別区を含む。）が認定事業者等に対して認定事業の実施に必要な資金を無利子貸付けする場合に、（独）中小企業基盤整備機構がその貸付金の一部（8割まで）を分担できるようにします。

(5) 人材育成

商店街の人材育成を国の債務と規定し、全国商店街振興組合連合会、全国商工会連合会、日本商工会議所、全国中小企業団体中央会が共同して設立された「全国商店街支援センター」が行う人材育成、ノウハウ提供等の事業を支援します。

(6) 有用情報の収集・発信

事例集作成などを通じて商店街活性化に取り組む商店街にとって有用な情報を収集し、全国に発信します。また、「新・がんばる商店街77選」など全国各地で先進的な取組を行う商店街を顕彰、広報します。

(7) 関係省庁が連携した支援対策

商店街が各種商店街関連施策を利用する際の便宜を高めると同時に、支援の効果を高めるため、関係省庁の連携体制を整備します。

3. 「全国商店街支援センター」等による商店街支援について

全国商工会連合会、全国中小企業団体中央会、及びこれらの団体と全国商店街振興組合連合会、日本商工会議所が参加する「未来志向型中小商業振興協議会」に対して、（独）中小企業基盤整備機構が助成を行い、これら4団体が共同して設立予定の「全国商店街支援センター」等を通じて商店街人材の育成、ノウハウ提供、専門家派遣による徹底したハンズオン支援、商店街自立支援、地域卸売業機能強化、地域産品販路拡大などの事業を行います。

● 具体的な事業内容

- 商店街の人材育成
- 商店街の起業支援
- 商店街の自立化（自主財源づくり）支援
- 商店街活性化ノウハウ等の提供
- 常駐商店街支援スタッフの派遣
- 商店街活性化に向けた地域での支援・協働体制づくりの支援
- 商店街活性化モデル事例の顕彰・広報
- 商店街の広域連携、商店街と産地の交流
- 地域卸売業との連携、ボランティア・チェーンの活用
- 地域卸売業の機能向上支援
- 卸商業団地再整備に関する調査研究
- 農商工連携や地域資源を活用した販路開拓
- 商店街のアンテナショップ等を活用した展示会・販売会
- 消費者と流通事業者とのマッチング

※ 同法においては、商店街活性化事業計画の認定を受ける事業主体は、商店街振興組合、事業協同組合等の法人格を有する組合組織とされていますが、山梨県内の商店街のほとんどは、法人格を有しない任意団体として活動しています。

こうした商店街のみなさんが、同法の認定を受け、補助金等の手厚い支援により活性化を進めるためには、法人格を有する商店街振興組合又は事業協同組合を設立することが必要になります。

問い合わせ

詳細につきましては、中央会 組織開発部 労働課 保坂まで

緑のカーテンでストップ温暖化

ibuki
息吹

ゴーヤを使った緑のカーテンをこ
存じだろうか。ツル性の植物である
ゴーヤを窓の外側で育て、室内に入
る夏の日差しをさえぎること、室
温の上昇を抑え、冷房にかかる電気
を節約して電気にかかる二酸化炭素
の排出を抑えようという取り組みで
誰でも簡単に設置できる。今では全
国各所で見かけるようになった。
我が家も今年挑戦してみた。まず
4月上旬に種まき（苗も売っている）、
6月上旬に発芽した株をポットに移
す、キュウリネットを居間の窓に軒
下から垂らす。ポットをネットに掛
かるように置き、後は水を与えるだ
け。7月中旬にはネット全面が緑の
カーテンとなった。
ゴーヤカーテンの効果は、①陽射
しを遮る効果が高く、涼しい。②すだ
れに比べて葉と葉の間に隙間がある
ため風通しも良く、葉から水分が蒸
発するときに周囲の熱を奪うのでよ
り涼しさを体感できる。③育てやす
い。④葉が大きくてカーテンにしま
す、他のツル植物に比べて丈夫で
あり、病気や害虫に比較的強い。⑤実
がなつて収穫できる。（食べることが
できる実はビタミンCが豊富で、夏
バテ解消に効き目があるなどだ。読
者の皆様も来年取り組んでみたら如
何だろうか。

山梨県中小企業団体中央会
情報連絡員報告

(平成21年7月分)

本県の7月の景況は、全業種のDI値では、売上高-62(前年同月比-28)、収益状況-52(前年同月比+6)、景況感-64(前年同月比+4)と前年同月比で収益状況、景況感については非製造業のポイント改善を受け、6月期報告に続きDI値の僅かな回復がみられた。しかし、売上高については、製造業、非製造業ともにポイントは悪化している。

業種別のDI値で見ると、製造業は、売上高-75(前年同月比-35)、収益状況は-70、前年同月比-10)、景況感-70(前年同月比-5)となっているが、前月比では売上DI値が10ポイントの悪化となった他は、収益状況、景況感ともに5ポイント改善しており、低調ではあるが、DI値の悪化の幅が小さくなった6月期に続き、若干の回復基調が見え始めている。

非製造業のDI値は、売上高-53(前年同月比-23)、収益状況-40(前年同月比+17)、景況感-60(前年同月比+10)と前年同月比、前月比ともに、売上高以外は改善している。

しかし、全項目でプラスに転じた6月と比較すると、非製造業は、若干の足踏み状態といえる。

7月期は、前年同月比の悪化幅が縮小傾向にあり、前月比でもプラスに転じている項目もあるが、7月も連絡員の報告では、多くの業種で厳しい内容が大多数を占め、中小企業経営の厳しい実態を反映している。

このポイントの改善を、そのまま「景気上向き」と捉えてよいのかは、現段階では不明であり、今後の動向を慎重に見極める必要があるのではないだろうか。



データから見た

業界の動き

トピックス

■ 昨今、地震や様々な異常気象が国内各地で多発し、甚大な被害を及ぼしている。そこで今回は業界企業の災害時における対応策(BCP・事業継続計画等)の有無や考え方について聞いた。

回答のうち、対応策の実施については「特に実施していない」「全く対応していない」「現状進んでいない」などが大半を占めたものの、そのほとんどが「必要性を感じている」「具体的対応が必要」「BCPの必要性を認識している」とコメントしている。

何らかの取り組みや対応をしているとした回答では、落雷時の対応としてライン停止・造成時に盛り土を通常より高くし被害に対応(県下に支部を編成し緊急事態時に備えている)・組合・個々企業でBCPの研修会を実施「マニュアル作成作業中」等、この他にも新型インフルエンザへの対応に係る回答も多かった。

また、対応が進まない理由として「講習会を行っても組合員の関心が薄い」「経営状況も含め、対応している余裕がない」「中小零細企業には取り組みへの負担

が大きい」などの回答が見受けられた。

この調査は、7月末の連絡員に向けた業況調査と併せて行つたものであるが、くしくも、8月に入ってから台風9号の豪雨による各地での水害、8月11日には駿河湾を震源地とする震度6の地震が重なり、大きな被害をもたらした。

もはや他人事ではなく、中小企業も積極的にBCPについて真剣に取り組んでいかなければならない時期にきている。

「BCPとは、企業が自然災害、大災害、テロ攻撃などの緊急事態に遭遇した場合において、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを取り決めたおく計画」

業界から一言

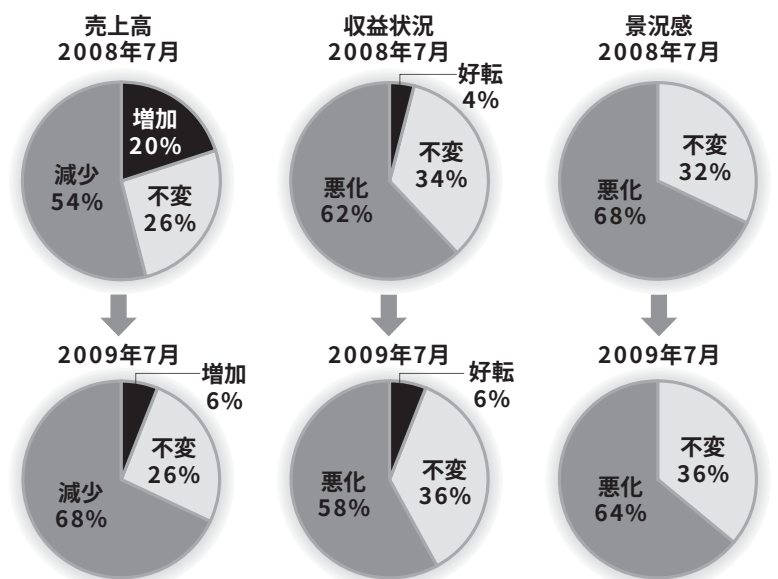
製造業

● 食料品(ワイン)／ワインは一般消費の回復があつて消費されるため高所得層の購買

非製造業

● 卸売(宝飾)／店頭販売は10%20%くらい落ち込んでい

データから見た業界の動き(平成21年7月分)



ると思われ、生産地域としての山梨は店頭販売の倍ぐらいの落ち込みが発生する。

● 小売(自動車)／今月は、プリウス効果で前年超えの実績をあげることができた。しかし、同車は今期の登録分がほぼ確定しているため、他の車種の販売をしないと収益確保が難しい状況。

● 小売(電機製品)／エコポイント効果で薄型テレビが台数で前年同月比130%以上のペースで販売されているが、大幅に値下げ傾向のため売上増加には結びつかない。エアコン、冷蔵庫の2品目も天候不順の影響か前年割れとなった。メーカー情報では量販店の販売不振が目立ち、地域店は逆に前年より上昇している様子。

● その他(貴金属)／売上こそほぼ前年並みだったが、細かな少額の仕事を多く集めて何とか達成できた。当然効率は悪く、残業も多く、仕事を回している結果は不満だが仕方ない。

● 小売(石油)／世界景気が後退し、石油製品の需要の見通しが立たず、元売各社は石油製品のコスト上昇に伴い値上げを行つたため、各給油所はガソリン・軽油等を3円程度値上げした。

● 美容業／業界では低価格を売

りとしたチェーン店が活気づいている。既存店は客を取られており、客足は鈍い。

● 廃棄物処理／企業の排出抑制等の進行に加えて、参入業者の増加により営業活動のバツティングなど厳しい状況

● 設備工事(電気工事)／政府の助成金対象の工事がそろそろ発注の見通し。太陽光発電が注目されているが、メーカーの価格が高く工事代が極端に安いという状況が横行すると、前の太陽熱温水器のようにブームが冷え込んでしまふと懸念。

● 運輸(タクシー)／主要駅でも待機時間が長く、乗務員の賃金にもかなり影響している。

● 運輸(トラック)／7月は天候不順のため、食品の輸送量が昨年比で減少した。雇用人員を整理するなどの対応を図らざるを得ない状況。

業界の声

山梨県電気工事工業組合

副理事長 金丸 正幸氏

業界の現況は？

電気工事業者は、建築物の一般電気工事や電気配線工事等を、主に下請により行っております。しかし、近年の不況等により仕事量が減少するとともに価格競争も激化しており、売上高は減少の一途をたどっております。

建築物を建築する場合、職別工事業者である型枠・塗装・内装・ガラス等々の業者及び設備工事業者である、電気・管工事業者等の様々な業者が専門性を活かして、それぞれに工事を行っております。しかし、受注量の減少等の理由により、専門工事業者が関連した工事等も一括で行う事も多く見受けられています。そのため、電気工事業界としても、他の専門工事も請け負うケースも増えております。

本来の専門工事以外の事業を行うためには、それなりの知識や技術を有することが必要であり、一朝一夕に他の専門工事業を行うことは困難ですが、発注者より一括で行うことを求められた場合、下請が断ることは非常に難しく、また安易な気持ちで他の専門工事を受けている業者も少なからずいるため、結果として工事の完成度が下がるケースも見受けられます。

このようなケースは、環境意識の高まりから増加傾向にある太陽光発電システムの設置工事においても想定されており、当業界として真剣に取り組まなければならない大きな課題となっております。

今後の展開は？

まずは、電気工事業者の下請体質からの脱却が必要と思われる。下請の場合、どうしても大手企業の意向が大きく反映され、厳しい受注価格で仕事をしなければなりません。また、受注に関しても価格で対抗しては先が見えてしまいます。そこで、重要となってくるのが、提案型ビジネスです。これは、価格には頼らず、自分たちで仕事の付加価値を創造し、それを売り込んでいくことです。これからは、仕事を勝ち取っていく時代です。自分たちの付加価値を売り込んでいくことが重要と感じます。

その他、日々の知識の向上や情報収集も重要と感じます。現在、仕事量は減少しています。その中で、他業者が電気工事業に参入してくることは必然の出来事とも考えられます。しかし、私どもが日々の知識を向上させ、情報収集にて先を見据えた戦略を立案していけば、他業種参入業者や新規参入業者はそんなに恐い存在ではありません。いずれにしても、仕事量が減少している中、努力無しでは勝つ残れないと思います。



創造性と高度な技術を競い合う 第23回山梨県美容技術 選手権大会を開催

ACTIVE KUMIAI



開会式に臨む参加選手

山梨県美容業生活衛生同業組合・深澤仁理事長は7月13日、甲府市の「かいてらす」(山梨県地場産業センター)において第23回山梨県美容技術選手権大会を開催した。

この大会は、第37回全日本美容技術選手権大会の山梨県予選を兼ねており、成績優秀者は、10月20日に石川県で開催される全国美容技術選手権大会への出場権が与えられる。

大会当日は、美容師と美容専門学校生約80人が参加し、ワインディング、カット&ブロー、ヘアースタイル、留袖付、中振袖着付、ネイル、フリースタイルカット、フリースタイルロング競技の8種目のうち、それぞれがエントリーをおこなった競技種目で日頃から研鑽を重ねてきた成果と技術を競い合った。

競技の評価基準は、ファッション性や芸術性の調和が重視され、独自の創造性・感性が要求されることから、参加選手達は、日頃の鍛錬してきた高度な技術を制限時間内で十分に発揮しようと、集中し真剣に取り組んでいた。

美容業界では、最新のファッションに敏感な顧客のニーズの多様化が進んでおり、こうした環境下で、より高度で顧客を満足させるための新しい技術の提供が常に求められている。

組合では、美容師個々の技術向上はもとより、業界として次代を担う人材の養成等をこれまで以上に強化し、さらなる業界の発展を目指していることから、この競技大会参加選手から業界のリーダーとなり、活躍していく人材が育つことに期待を寄せている。



制限時間内で技術を競いあった

石和の夏は とにかくアツイ！

ACTIVE KUMIAI

石和温泉では夏休みにあたる7月から8月、様々なイベントを開催した。



石和の伝統的な鵜飼漁法「徒歩鵜」

まずは、7月20日から8月19日の週4回程度行われる「笛吹川石和鵜飼」である。鵜飼とは、鵜(う)を使ってアユなどを獲る伝統的な漁法のひとつ。笛吹川石和鵜飼では、この中でも「徒歩鵜(かちう)」と呼ばれる鵜飼漁法を用いている。これは小船等を用いず、鵜匠(うしう)が1羽ないし2羽の鵜を連れて直接浅瀬に入って漁をする鵜飼である。笛吹川石和鵜飼では鵜匠体験もでき、観光で訪れたお客様に毎年好評を頂いている。

次に、石和温泉街の夜を彩る「石和温泉連夜花火」。これは、7月20日・8月31日の毎日、石和温泉街の夜空に打ち上げ花火が上がるのだ。時間は10分程度と短めだが、期間中であれぱいつ訪れても見る事ができ、ゆったりとした雰囲気の中、花火を楽しむのが特徴である。また、今年は8月末日まで開催期間を延長し、多くの方々に石和温泉の夜の素敵な思い出を提供した。

そして、石和の夏の一大イベントとして名高いのが、8月21日に行われた「第45回石和温泉花火大会」である。これは、毎年約20万人の人手があり、約9,000発の花火が石和の夜空に打ち上がる県下最大級の花火大会である。花火師たちによる競技大会をはじめ、各種スターマインが石和の夜空を彩る。観客席のほぼ真上に打ち上げられるので、まるで花火の傘の中に入ったような気分が味わえるのが特徴である。今年もたくさんの観光客らが訪れ、石和の夜を更にアツくしていた。



花火師たちによる夜空の祭典

このほかにも、灯籠流し、二十日祭等、様々な夏のイベントが開催された。皆さんも、来年の夏は石和の夏祭りには是非訪れてみてはいかがでしょうか。

設立10周年記念式典開催

ACTIVE KUMIAI



式典であいさつする宇津江理事長

甲府市内の市立中学校給食を一手に賄っている山梨県学校給食協同組合・宇津江克雄理事長が、組合創立及び中学校給食受注10周年を記念して設立一〇周年記念式典を開催した。市内のホテルにおいて開催された式典には内藤悦次中央会会長、甲府市林正孝副市長をはじめとする多くの来賓、関係

山梨県学校給食協同組合

取引先の代表者らが集まり、盛大な会となった。



多くの来賓・関係者が参加した

山梨県学校給食協同組合は、給食・お弁当業界の受注競争激化により価格競争に進展、共倒れの危機に直面していた業者の健全な経営のため、業界全体の体質・意識改革が急務となった平成10年に設立、甲府市内の市立中学校が行政改革の一環として学校給食の民間委託を実施することとなり、組合組織として組合員に受注業務を配分することによりリスク分散を望む声が行政側からあったことから、組合は積極的に受注活動を行うとともに、組合員は衛生基準に基づいた製造施設の改善に取組み、同年九月より全十校を受託するに至った。

「これまでの十年間、幾多の問題・課題にぶつかってきたが、甲府市、教育委員会、関係諸団体及び組合員の協力によって乗り越えることができた。初心に戻り、全組合員一丸となって、安全・安心かつ美味しい学校給食の提供を行うべく、全組合員の施設のさらなる改善と職員の方々の衛生教育を徹底し、これからの十年に向かって山梨県内全域の食の需要に応えられるように体制を整備・強化していきたい。」と宇津江理事長は語っている。

組合では平成十三年関東経済産業局より、官公庁発注の物件を扱うに相応しい体制が整っている組合の証明、官公需適格組合証明を取得、中学校給食のほか、県立ひばりヶ丘高校の給食や給食施設改修に係る甲府市内小学校の給食配送、インターハイや冬季国体などの弁当提供などを受注し非常に活発に活動を行っている。

給食・弁当に関する依頼は官公庁・一般を問わず受け付けている。

●詳しくは組合事務局までTEL055-260-7210

TOPICS

TOPICS

山梨県美容業生活衛生同業組合

石和温泉旅館協同組合

山梨県学校給食協同組合

『組合設立30周年記念の会』開催

ACTIVE KUMIAI



あいさつをする川手理事長

山梨県アパレル工業組合(川手正紀理事長)は、去る8月21日甲府市塩部ニュー芙蓉において、『組合設立30周年記念の会』を開催した。この会は、本組合の設立30周年を記念して行われたもので、組合員をはじめ関係機関を合わせて30名が出席し行われた。

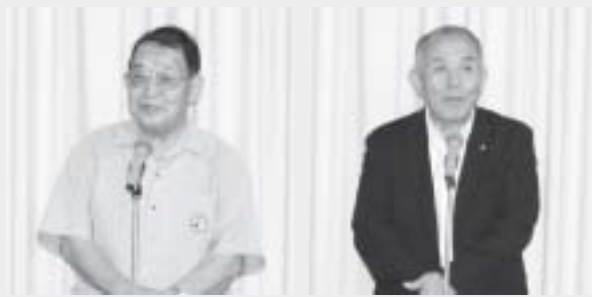
本組合は昭和54年に、山梨県既製服工業協同組合と協同組合山梨県縫製懇話会が合併し、山梨県既製服縫製工業組合として活動を開始した。その後、昭和58年に山梨県アパレルソーイング工業組合平成17年には現在の山梨県アパレル工業組合へ名称を変更し、その歴史を刻んできた。

組合が設立された当時は紳士服縫製加工が主業務で、徐々に取扱品目が増加、婦人服の縫製を行うようになった。縫製加工は集約的産業で、手作業による部分が多くを占めている。紳士服の縫製で身に付けた技術と多種少量かつデザイン性の婦人服の縫製技術を複合し、高い技術力で現在に至っている。

平成16年からは「外国人研修生共同受入事業」を開始し、平成20年には第4期生16名を迎え、現在では約60名の研修生が組合として受け入れている。

全国でも不正行為が様々な問題がある中で、本組合は「技能継承のための労働力確保第一歩」を目的に掲げアパレル産業の発展のために技術指導を行い、多くの実習生が育っている。

今回の「記念の会」では記念式の他、懇親パーティが行われ、歴代理事長平川良雄氏(3代理事長)、松吉寛治氏(4代理事長)の2名を挨拶を行い組合の歴史を振り返った。



3代理事長 平川良雄氏

4代理事長 松吉寛治氏

ジュニア・トライワーク 生徒が仕事を体験

中央会では、平成19年度から山梨県の委託を受け、小・中学生を対象とした職場見学と職場体験を行う、キャリア教育推進事業「ジュニア・トライワーク」を実施している。

これはノートやフリーターの増加、若年労働者の早期離職率の上昇など、若年の就業意識の低下が社会問題となっており、早い段階から就業観や勤労観を養い、自らの進路を主体的に選択できる能力を育てることを目的として、年間10回の実施を予定している。

中央会では、参加小・中学校が希望する業種や職種に合わせて企業と交渉を行い、受け入れの依頼と体験日程の調整等を行っている。

第1回目は7月31日に北杜市立武川小学校5・6年生18名を対象に身延町「有限会社山十製紙」「なかとみ和紙の里」「西嶋和紙工業協同組合」、第2回目は8月3日に山梨北中学校2年生26名を対象に石和町「ユニ株式会社アピタ石和店」で行われ、それぞれ体験を行った。

第1回目の有限会社山十製紙では工場内見学と手漉き和紙作業見学、和紙の里では実際に手漉体験、組合では作業場の見学後に古紙の仕分け袋詰め作業を体験した。

また、第2回目のユニ株式会社アピタ石和店では、挨拶の基本練習後社内見学をし、見学後は7班に分かれ各売り場にて商品の陳列、タック貼り、レジなどの体験をした。

参加した生徒は、短い時間ではあったが、働くことの大切さや仕事の厳しさを体験し充実した1日となった。



仕事体験(商品の陳列)



手漉き和紙づくりの体験

平成21年度キャリア教育推進事業

山梨県中小企業組合等事務連絡協議会

平成21年度通常総会を開催



あいさつをする菅原会長

山梨県中小企業組合等事務連絡協議会(菅原五男会長)の平成21年度通常総会が、7月29日甲府市の「中央会研修室」で会員多数の出席のもと開催された。総会では、菅原会長のあいさつ後、来賓として山梨県中小企業団体中央会の内藤悦次会長の祝辞があり、その後議案の審議に入った。

議案の審議では、平成20年度事業報告及び収支決算の承認、平成21年度事業計画及び収支予算の決定などが可決された。当協議会の昨年度を振り返れば、会員が積極的に参加できる事業が少なく、会の目的である会員相互の親睦を図れなかったことが大きな課題として残された。

本年度の事業計画としては、例年の事業のほか、協議会の組織・活動のPR方法や新規会員の加入促進、全員が参加できる事業の検討が盛り込まれた。



平成21年度の事業計画が決議された

当協議会は、昭和47年に「山梨県中小企業団体事務長会」として設立され、平成18年に会員資格を従来の事務主任者から組合事務局職員にまで拡大し、組合事務局の資質の向上を目指した研修事業と会員相互の情報交流を中心に事業を展開しており、46組合員数60名で構成されている。



（株）キッツ長坂工場に於いて会社の概要説明を受ける

本会では、8月7日「ものづくりの魅力発見ツアー」（主催：ジョブカフェやまなし、実施機関：中央会）を開催し、県内有力企業である第一精工（株）山梨工場・（株）キッツ長坂工場・東京エレクトロンA T（株）山梨事業所の3社を訪問先として、大学生23名が参加した。

本事業は、山梨労働局から委託された若年者地域連携事業の一環として実施したもので、製造業の現場を「見る」経営者や技術者から「聞く」ものづくりの現場を通じて魅力を「実感」することを主眼とした。大学生が、世界でも勝負できる先端技術・知識を習得し、「ものづくり」についての興味や意義を理解し、生涯に渡って専門能力を追求し続けるスペシャリストを目指すために、これらの企業への雇用機会を得るための就職活動を支援することなどを目的とし、年に2回実施している。

訪問先の3社は、いずれも山梨県を代表する製造業であり、品質保証、顧客満足の上に関する国際基準ISO9001及び環境に関する国際基準ISO14001を認証取得するなど、地球環境や社会貢献活動に積極的に取り組んでいる企業である。また、将来を担う若い技術者の職業意識の醸成に育んでいることから、本事業の受け入れにも全面的な協力をいただいた。

参加者は、まずオリエンテーションを行い、各企業の総務担当者から会社の概要・主要事業・経営理念・雇用形態・雇用環境等の説明を受けた。その後、工場見学では最新鋭の機械やコンピュータ制御機器を導入した先端テクノロジー分野を肌で感じ取っていた。

参加者のアンケート結果は、「参加して良かったですか？」の質問に対して「良かった、大変良かった」が96%であり、満足度の高い実施結果となった。

平成21年度ものづくりの魅力発見ツアーを開催

平成21年度の国等の契約方針について説明 官公需地方推進協議会開催

8月3日（月）山梨県庁北別館において、官公需地方推進協議会が開催された。

この協議会は、「国等の契約の方針」が6月12日閣議決定されたことを受けて、関東経済産業局担当者が、関東ブロック内の11都県を訪問し、施策説明等を行っている。

また、国の施策説明の後に県担当者による「中小企業者のための官公需確保に向けた取り組み」及び本会官公需担当者による支援説明等が併せて行われた。



平成21年度国等の契約の方針概要

中小企業者の受注機会の増大のための主な措置

(1) 地域の中小企業者の適切な評価

地域への精通度等が事業の円滑かつ効率的な実施の重要な要素となる契約について、適切な地域要件の設定等地域の中小企業者の適切な評価や積極的な活用に努める。

(2) 情報提供の推進

①「官公需ポータルサイト」の構築

国等及び地方公共団体がホームページで提供している発注情報を一括検索し、情報提供する「官公需ポータルサイト」を構築し、中小企業者が発注情報を入手しやすくする。

②国等の契約目標・実績のきめ細かな公表

中小企業者が受注機会を把握しやすくするため、独法等毎の情報公開を行うなど、国等の機関について契約目標・実績をきめ細かに公表する。

(3) 下位等級者の入札参加機会の確保

一括調達による発注を行う場合には、予定価格に対応する等級の入札参加資格者に加え、それより下位の者も入札に参加が可能となるよう弾力的な運用を行い、中小企業者の受注機会の確保に配慮する。

山梨県における中小企業者のための官公需確保に向けた取り組み

- 「平成21年度国等の契約の方針」の周知
- 「県の契約についての県内中小企業の受注機会の確保対策連絡協議会」の開催
- 「県の契約についても県内中小企業者の受注機会の確保に係る推進方針」の策定

情報の提供と受注機会の増大、銘柄指定の廃止、分割発注の推進、計画的発注の推進
適正価格による発注、県の契約についての窓口相談の設置、県産品の利用促進

山梨県中小企業団体中央会の官公需に関する支援概要

●官公需資料作成普及事業

県内にある国等の機関や山梨県及び市町村からの発注、落札、競争入札参加資格申請等の情報を収集し、本会HPにて公開しております。

中央会HP http://www.chuokai-yamanashi.or.jp/2_yaku/1_kankojyu.html

●官公需適格組合申請支援

官公需適格組合申請支援及び官公需施策の情報提供を行っています。

親子産業観光モニターツアーを実施



山梨県立博物館では、「おもちゃと模型のワンダーランド展」を見学した。

午後からは、（株）石友で宝飾産業の歴史について学び、加工工程や本物と人工宝石の見比べ等を行い、天然水晶を使ったプレスレットを作製した。

本会は、8月26日、山梨の産業観光の魅力について、多くの方々に知ってもらうために、親子参加型の産業観光モニターツアーを14組32名の参加者により実施した。

近代産業遺産である「大日影トンネル・トンネルワインカーブ」の見学後、白百合醸造（株）では、原料となるぶどうの食べ比べや子供達による収穫体験、ぶどう踏み、樽から直にワインを詰めたり、コルク打ち、オリジナルラベルの作成を行った。

また、県内産のストリート果汁100%によるチビッコソムリエ大会も併せて行われ、優勝者には、ソムリエが試験の際に使用するタートパンが贈られた。

情報BOX

●中央会からのお知らせ『**がんばる中小企業応援プラン**』～平成21年度 地域力連携拠点事業(関東経済産業局委託)

▶この事業は、地域の中小企業が直面するさまざまな課題に対して、中央会をはじめ支援機関の連携拠点においてワンストップで決め細やかな経営相談・支援を行うものです。

相談・専門家派遣・
各種セミナー参加とも

無料 お気軽にご相談ください

▶▶▶ 経営セミナーのご案内

テーマ

『**これがわかれば会社は伸びる**』

～自分の会社を診る眼を養い、この時代を勝ち抜く極意を学ぶ!!～

講師▶(株)タナベ経営 取締役・ネットワーク本部長 中東 和男 氏
(15日のみ 本部長代理 西山 英男氏)



- 経営者がおさえるべき会社の数字
- 事業を続ける意味
- 会社の数字から見るコストダウンの進め方
- これからの時代を勝ち抜く

- 参加費…**無料**
- 開催時間…**15:00～17:00**
- 開催日／開催場所

平成21年①9月 1日(火)▶山梨県民信用組合 鯉沢支店(鯉沢町鯉沢)
②9月 2日(水)▶山梨市民会館(山梨市万力公園内)
③9月 3日(木)▶甲府市総合市民会館(甲府市青沼)
④9月15日(火)▶山梨県民信用組合 都留支店(都留市上谷)
⑤9月16日(水)▶山梨県民信用組合 韮崎支店(韮崎市本町)
⑥9月17日(木)▶山梨県民信用組合 竜南支店(甲斐市万才)

●会場の都合がございますので、下記まで事前の予約をお願いします。
6会場ともに同じ内容です。お近くの場所・都合のよい日程をお選び下さい。

問い合わせ先 山梨県中小企業団体中央会 連携支援課 TEL055-236-3322 または 所属組合担当者まで

1組合1組合士 中小企業組合検定試験 願書受付が始まりました!

いま、中小企業組合はガバナンスの充実が求められており、組合員はもちろん、広く社会の信頼を高め、社会的責任を果たすには、組合運営の経験と専門的知識を備えた事務局が必要です。ぜひ組合に『中小企業組合士』を置きましょう。

検定試験概要

- 1.試験科目
組合制度、組合運営、組合会計の3科目
※一部の科目について合格点を得た場合には、その後に行われる試験においては申請により3年間はその科目の受験が免除されます。
- 2.試験日 平成21年12月6日(日)
- 3.試験地 全国20都市
札幌・青森・秋田・仙台・さいたま・東京・長野・静岡・名古屋・大阪・岡山・広島・松江・山口・高松・福岡・長崎・大分・鹿児島・那覇
- 4.受験料 5,000円(一部科目免除者は3,000円)
- 5.受験申込 本会が配布する願書に受験料を添えて、本会へお申し込み下さい。
- 6.願書受付 平成21年9月1日(火)～10月15日(木)
- 7.合格発表 平成22年3月1日(月)
- 8.中小企業組合士への手続
試験合格者には、山梨県中小企業団体中央会から組合士認定申請についてご連絡致します。

問い合わせ先

本会担当指導員又は組織課まで

受講者募集

平成21年度 「障害者職業生活相談員資格認定講習会」のご案内

◆県内の事業所に勤務し、障害者職業生活相談員に選任された方、その他選任が予定されている方を対象とする、「障害者の雇用の促進等に関する法律第79条」に基づく、平成21年度「障害者職業生活相談員資格認定講習会」を開催いたします。

- 1.開催日 平成21年11月18日(水)～19日(木)の2日間(9:30～16:30)
- 2.会場 KKR甲府 ニュー芙蓉(甲府市塩部3-6-10)
- 3.受講料等 受講料・テキスト料は「無料」です。
- 4.募集人員 40名
(申込書の受付順とし、定員になり次第締め切ります。)
- 5.応募締切 平成21年10月26日(月)

障害者雇用納付金制度が改正されました!

◆障害者の雇用の促進等に関する法律の一部を改正する法律が成立し、平成21年4月から段階的に施行となっています。特に、障害者雇用納付金制度において障害者雇用率未達成の事業主(現行:常用労働者数301人以上)は納付金を納める必要があることにご注意ください。

- 1.障害者雇用納付金制度の対象事業主が拡大されます。
 - 常用労働者数201人以上の事業主(平成22年7月～)
 - 常用労働者数101人以上の事業主(平成27年4月～)
- 2.短時間労働が障害者雇用率制度の対象となります。
 - 週所定労働時間20時間以上30時間未満の短時間労働者数を、常用雇用労働者数や実雇用障害者数の計算の際に0.5とカウント(平成22年7月～)
- 3.このほか、障害者雇用率の算定の特例が創設されました。
 - 企業グループ全体で実雇用率を通算出来る等(平成21年4月～)

問い合わせ先 (社)山梨県雇用促進協会 TEL055-232-8310

シニアワークプログラム事業

60歳台前半層を中心とする働く意欲のある高齢者の雇用・就業の確保を促進することを目的として「技能講習会」「合同面接会」などを実施し雇用・就業を目指します

- フォークリフト運転技能コース合同面接会
●平成21年9月10日(木)
- タクシー乗務員養成コース合同面接会
●平成21年12月10日(木)
- ヘルパー2級課程コース合同面接会
●平成21年10月7日(水)
●平成22年2月25日(木)



※求人参加企業事業所を募集しています。詳細は下記までお問合せ下さい

問い合わせ

(社)山梨県シルバー人材センター連合会
〒400-0035 甲府市飯田三丁目3-28スカイハイツ1階 TEL055-228-8383 FAX055-228-8389

シニア就業支援プログラム事業

55歳以上の雇用就業・社会参加を希望する高齢者対象に地域ネットワークと連携し支援します



シルバー人材センター連合会へ登録

- ワークショップ参加
職場体験
シルバー就業体験
ボランティア体験
- 雇用就業・社会参加支援
※各企業の登録も受け付けています

ストップ温暖化!!

地球の温暖化が叫ばれています。現に世界各地での砂漠化や異常気象など、私たちの身の回りにも深刻な影響は起こっているのです。

私たちトラックも化石燃料を消費し、地球温暖化物質を放出しています。一方でトラックによる輸送は、既に、国内の輸送の約9割を担い、水道や電気と同じように日常生活に欠くことのできないライフラインの一つでもあります。「私たちは人間で言えば血液のようなもの」そんな自負もあります。

だから、私たちは環境に対しても自分たちでできる努力はぜんぶやろうと思います。たとえば、コストの削減効果だけでなく地球にもやさしい「アイドリリングストップ運動」や「低公害車の導入促進」そして「環境基本行動計画の策定」など、業界一丸となって取り組んでいます。

かけがえのない自然を責任をもって未来に届けるために、私たちは走り始めています。

山梨県トラック協会は「チーム・マイナス6%」を応援しています。

(社)山梨県トラック協会(環境保全対策委員会)
(社)全日本トラック協会
後援/山梨県 関東運輸局山梨運輸支局

山梨中央銀行

山梨中銀 創業支援ローン

ファインスタート

金利優遇あり

- 最大1,000万円
- 無担保でのお取扱い
- 第三者保証人不要

※審査結果によっては、ご希望に添えない場合もございますので、あらかじめ御了承ください。

0120-201862

編集後記

夏と言えば…私は夏の高校野球です。今年は、山梨学院大学付属高校が惜しくも2回戦で敗退し、中京大中京高校が日本一の栄冠を勝ち取りましたが、私の目を引いた高校は「花巻東高校」。エースの菊池雄星くんはもちろん凄いです。それ以上にピンチの時でもチーム全員が笑顔を忘れず、相手に立ち向かうその姿勢に感動しました。ピンチの時でも笑顔を忘れず、難題に立ち向かう…私も良い勉強になりました。

●ご意見・ご要望は、
中小企業タイムズ編集班まで

TEL 055-237-3215
FAX 055-237-3216
E-mail webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp

インターンシップ体験記

●山梨大学 工学部 循環システム工学科
岩間 みな美

私は、8月17日から21日までの5日間、山梨県中小企業団体中央会でインターンシップを受けさせて頂きました。私自身、働く経験はアルバイトという立場において多くありました。しかし今回の研修で、社会で働くこととアルバイトは全く違うことである、と強く感じさせられました。社会を甘く見ていた自分、世間を知らなさすぎる自分にも気づかされました。

今後、大学の勉強だけでなく、社会勉強もして、常にやる気と向上心を持ち続けるようにしなければ！と強く思いました。

今回の研修で様々な人や業界の方に話を聞くことにより、職業に対する私の視野も広がり、社会で働くことに対する意欲も増しました。

お世話になった中央会、また各業界の皆様には感謝の気持ちで一杯です。本当にありがとうございました。



「けんみん信組 ビジネスローン」 事業者向けローン

ご融資期間
最長5年!!

ご融資金額
50万円～
最高500万円!!

スピード
審査

ご利用いただける方

- 原則として業歴2年以上の法人（協同組合は不可）および確定申告を行っている個人事業主
- 農林水産業の方も申込できます。
（但し、業種によっては受付出来ない場合があります）
- アイフル株式会社の保証が得られる方
※詳しくは、窓口または営業係までお気軽にご相談ください。

けんみんのグッドパートナー
YKS 山梨県民信用組合

甲府市相生1丁目2-34 TEL055-228-5151
<http://www.yamanashikenmin.shinkumi.jp>

やる気と潜在能力のある 中小企業を応援します

YAMANASHI GUARANTEE



山梨県信用保証協会

本店 甲府市飯田二丁目2-1
TEL (055) 235-9700(代)

富士吉田支店 富士吉田市下吉田1832
TEL (0555) 22-0992

本会の特産品開発チームは、8月5日（水）～7日（金）にかけて東京日本橋の「富士の国やまなし館」前のエントランス広場で開催された「風林火山物産展（夏の陣）」に参加し、ミネラルウォーターなど「水」関連の特産品を中心に都心のサラリーマンやOLに向け、積極的に山梨をPRし、販売促進に努めた。

このイベントは、やまなし館が入居する日本橋プラザビル13階にある「財団法人地域活性化センター」の主催により、全国各地の地方団体・観光物産団体が出展して、農産物・地場産品などの特産品を東京の人々に紹介・PRするために、年間20回程度開催しているものである。

やまなし館がある「さくら通り」周辺は、ビジネス街であり日中は、サラリーマンやOLの通行が圧倒的に多い。また、日本橋高島屋や丸善などが隣接しており、企画展の内容によっては、所得層が高めの顧客の集客が期待できる好立地条件にある。

山梨県観光物産連盟（やまなし観光推進機構の前身）が県の出展窓口となり平成19年度より「風林火山物産展（夏の陣）」と銘打って参加してきた。したがって、今回が3回目の開催となる。

初出展となる中央会では、過去に他団体の販売実績、立地条件、気候条件等を考慮して、商品の設定を行った。

都会のビルの谷間の立地であり、期間中は猛暑となることが予想できるため、麺類や漬物、菓子等の販売は控え、ミネラルウォーターを主力に選定したが、冷えたサーバーからのおいしい水の試飲は好調で、汗をかきながらのビジネスマン達の「命の水」になりえたかも知れない。やはり試飲して頂き、おいしさを実感して頂く事が「山梨のおいしい水」のPRになり、販売に繋がると思われる。

今回は、他の団体が桃、ぶどう、すもも類などの果実類や勝沼産ワインを販売した中で、旬の「桃」に人気が集まった。

本会は、ミネラルウォーター以外にピーチジュース、甲州ぶどうジュース、南部茶ペットボトルも販売し、完売することができた。特に、ピーチジュースは、「やまなし館」で販売していることから、なじみ客も多く、ケース買いがあるなど好評であった。

今後、さらに売上の増加を図るためには、ミネラルウォーター、ピーチジュースはケース販売ができるよう、宅配との連携が必要だと感じた。「特産品チーム」にとっては、まだまだ販売になれない中での仕事であったが、販売方法の厳しさを痛感した3日間であった。



ミネラルウォーターの試飲販売

東京八重洲口
「日本橋プラザビル」で特産品PR!